

傷害事故・賠償事故 多発 非常事態宣言

事故件数が昨年同期の5倍！ 重大事故も発生

6月以降、8月6日現在、事故発生件数は、傷害事故6件、賠償事故3件、交通事故1件で合計10件と増加しています。

昨年同期は傷害事故が2件（2件とも蜂刺されで1～2日の通院程度）でしたが、今年度は5倍の事故件数が発生、特に1カ月以上の入院を要する重大事故が2件発生しています。

そこで、安曇野シルバー人材センター「安全・適正就業委員会」は、傷害及び賠償事故が連続して発生、また重大事故も発生している状況を受け、「傷害事故・賠償事故 多発非常事態宣言」を発表し、会員総ぐるみで安全就業意識の高揚を図り、事故の防止に全力で取り組みます。

事故件数・内容等過去に例の無いような事態を受けて、本年度から新設した事故調査委員会により、現地調査及び事故原因の分析を行い再発防止対策と今後の安全作業のための周知を行います。

7月15日 剪定作業中に蜂に刺され、アナフィラキシーショックにより一時「心肺停止」状態に陥った重大事故（1カ月以上の入院見込み）が発生。（8/1付で会員全員に事故警報配布済）



蜂に刺された箇所と再発防止のための事故調査委員会による現地調査

7月20日 には作業終了後の清掃中に転倒し、左臀部を強打し左大腿部転子部を骨折、入院が1カ月以上見込まれるという重大事故が発生。



草刈り作業における石飛事故（バス後部ガラス破損）

8月1日 には会社敷地内での草刈り作業中、石が飛び、従業員送迎用のマイクロバスの後部ガラスに当たり破損するという賠償事故が発生。（従業員が乗車中でしたが、ケガが無かったのが幸いでした）

この他にも7月29日から8月3日にかけて3件の傷害事故と1件の賠償事故が発生するという極めて憂慮すべき事態です。

今後も「安全は全てに優先する けがをしない、させない」を目標とし、特に重点目標として、「重篤事故の絶滅と事故件数の減及び健康管理」を目指して、会員一人ひとり自ら事故防止に取り組ましましょう。

～安全は全てに優先する～

事故の撲滅（ゼロ）を目指そう

令和 2 年度 事故発生状況（8 月 6 日現在）

【傷害事故】 6 件(前年同期 2 件)

事故月日	事 故 の 状 況	傷害部位	傷害程度
6 月 4 日 75 歳 男性	自走式芝刈り機のエンジンをかけようとしたところ、軽トラックの荷台角に右手首の甲を強打した。	右手首 打撲	全治 2 週間
7 月 15 日 62 歳 男性	庭木の剪定作業をしていたところ、蜂に刺され体調が悪くなり、救急搬送されたが、アナフィラキシーショックのため、一時的に心肺停止となった。	左腕下部 1ヶ所	入院中
7 月 22 日 69 歳 女性	作業終了後の清掃を終えて、モップを掃除用ロッカーへ戻そうとした際に、足がモップの糸に躓くか絡んだかして、尻もちをつく様に転倒し、左臀部を強打した。	左大腿骨 転子部 骨折	全治 2 ヶ月
7 月 29 日 75 歳 男性	依頼者宅の草刈り作業を行った後、玄関前の竹が混んでいたため、何本か切つてスッキリさせようと竹に手をかけたところ、蜂に刺された。(2ヶ所)	左手人差し指と中指	通院 1 回
7 月 31 日 70 歳 男性	屋外でパレット選別作業中、晴れて気温が高かったため、体調が悪くなりその場に倒れこんだため、救急搬送された。	熱中症 脱水症状 血圧低下	入院 1 日
8 月 3 日 72 歳 男性	園内に点在する施設の清掃のため歩いて移動していたところ、坂道で滑って転倒した。その際、手を突いたところに落ちていた木の枝が手のひらに刺さった。	左手 小指下 (深い傷)	刺傷 (数針縫合)

【賠償事故】 3 件(前年同期 0 件)

事故月日	事 故 の 状 況	賠償程度
6 月 16 日 78 歳 男性	剪定作業に使う三脚(2.4m)を軽トラックから降ろして剪定場所に運搬中、足がふらつき駐車場に停めてあった乗用車に接触した。	左後輪上のフェンダーに傷
7 月 31 日 76 歳 男性	吸引式集草箱をけん引した乗用芝刈機を運転して作業場所に移動中、運転を誤りゴミ集積所の建物と集草箱の左側前部が接触した。	ゴミ集積所建物の角と壁面破損
8 月 1 日 73 歳 男性	刈払機により駐車場内を除草作業中、石飛により近くに停車中のマイクロバスの後部ガラスを破損した。 (バスに人が乗っていたが、ケガは無かった)	後部ガラス全損

【交通事故】 1 件(前年同期 0 件)

事故月日	事 故 の 状 況	傷害部位	傷害程度
6 月 20 日 73 歳 男性	仕事を終え帰宅途中、信号機のある交差点を左折しようとしたところ、後続のトラックに追突された。	右側肋骨 右肩 打撲	全治 1 ヶ月

